

県民の森 花ごよみ 6月号

～今月はこんな花(実)が見られます～



オカトラノオ

名は花序を虎の尾に見たてたもの。日当たりのよい草地などに生える高さ0.6～1mの多年草。ヌマトラノオは湿地に生え、花序はすつと上にのびるのが特徴。イヌマトラノオはオカトラノオとヌマトラノオの雑種。
(サクソウ科)



ホタルブクロ

名は、ぶら下がり咲く花を提灯に見立て、火垂(ほたる:提灯の古語)をあてた説と、子供が花のなかにホタルを入れて遊んだからという説がある。高さ40～80cmの多年草。
(キキョウ科)

淡紅紫色の花。名は、美しい紫色の果実を紫式部にたとえたという説がある。落葉低木。
(クマツヅラ科)



ムラサキシキブ

ヌマトラノオ



ウツボグサ

名は、花穂を矢を入れるうつぽに見たてたもの。高さ10～30cmの多年草。夏、花が枯れて黒っぽくなっても、そのまま立っているため夏枯草(かこそう)ともいう。
(シソ科)



ウメモドキ

名は葉がウメの葉に似ていることによる。庭や公園などでよく見かけるが、自生は多くない。湿った落葉広葉樹内で自生する。落葉低木。雄雌別株。
(モチノキ科)



テリハノイバラ

日当たりのよい場所で地面をはっている。別名ハイイバラ。
(バラ科)



クララ

名は根汁をなめると、目がくらむほど苦く「くら草」といわれたことによる。高さ0.8～1.5mの多年草。よく見ると、花はブツのような形をしていてかわいらしい。
(マメ科)



モミジチゴ(実)

葉がモミジのように裂けるのでこの名がついた。花期は4月で白い花が下向きに咲く。地下茎をのぼして盛んに範囲を広げる。落葉低木。
(バラ科)



モデルコース: ゆっくり歩いて約90分

トイレ

発行 茨城県植物園管理事務所



ドクダミ

民間薬として有名。名は毒や傷みに効くということから「毒痛み」が転じたものといわれる。10種の薬効があるという意味から、十薬(じゅうやく)とも呼ぶ。
(ドクダミ科)



アジサイ

アジサイの仲間だが装飾花がないのが特徴で、類似種との区別は容易。落葉低木。関東地方以西に分布する。別名シバアジサイ。
(ユキノシタ科)



ネジキ

白い花を下向きに多数つける。花の形が飯粒に似ているので、飯粒の木と呼ぶ地方もある。幹がねじれるのが特徴で、乾燥したところに多い。有毒植物。落葉低木～高木。
(ツツジ科)